



## Press Release

### ロングリーチグループ

#### 珈琲館事業の譲受につき、ユーシーシーフードサービスシステムズ株式会社と合意

【東京 / 香港 2018年3月7日】 独立系投資会社ロングリーチグループ(以下、「ロングリーチ」)は、ユーシーシーフードサービスシステムズ株式会社(以下、UFS)との間で、UFSが保有する珈琲館事業の譲受につき合意しましたので、お知らせいたします。

珈琲館は、「一杯のコーヒーに心をこめて」というスローガンの下、「ゆっくりとくつろぎながら本物の珈琲が楽しめるコーヒーショップ」として、1970年の創業以来、喫茶店業界を牽引してきました。「珈琲館」、「カフェ・ディ・エスプレッソ珈琲館」、「珈楽庵」、「珈蔵」のブランドにて、全国での総店舗数は277店舗をかぞえ、フルサービス業態では国内第2位の規模となっております。

ロングリーチは、珈琲館事業が有する業界での高い実績に加え、「高品質のコーヒーを丁寧に提供できるサービス力」等の強みを高く評価しており、また、魅力的な店舗フォーマットの確立と店舗拡大により、更なる成長のポテンシャルがあるものと考えております。ロングリーチは、これまでウェンディーズ・ジャパン/ファーストキッチン等の外食事業、及び大企業カーブアウト案件に対する投資実績、成功事例を有しており、これらを通じて培った経験を基に、戦略立案・実行ノウハウ等の経営資源を提供するなど、あらゆる面から最大限の支援を行うことにより、珈琲館事業の強みや特徴を活かしながら、独立した企業としての珈琲館事業の成長を加速して参ります。

なお、今回の珈琲館への投資は、2016年に行ったウェンディーズ・ファーストキッチンへの投資に引き続き、特徴あるコンシューマー事業への投資と価値向上に注力するロングリーチグループの方針に一致したものです。

###

#### ロングリーチグループについて (URL: <http://www.longreachgroup.com/>)

ロングリーチグループは、日本における戦略的プライベート・エクイティ投資を目的とした事業支援投資会社です。対象分野としては、日本におけるコンシューマー関連、産業テクノロジー、ビジネスサービス、金融サービスの各分野が中心となります。また、共同投資分を含め合計で約18億ドル規模の3ファンド(第1号・第2号・第3号)を運営しており、過去これらのファンドを通じて、様々な投資案件を手掛けてきた実績を有しております。

ロングリーチグループは、投資主体となるファンド並びに香港拠点のロングリーチグループ・リミテッドおよび東京拠点の株式会社ロングリーチグループにより構成されるグループです。東京拠点の株式会社ロングリーチグループは、日本およびアジア市場に関するデータや情報を収集し、投資ファンドが投資案件の発掘調査を行うためのコンサルティング業務を提供しています。

ロングリーチグループは、投資先企業の皆様との信頼関係を基に多様なソリューションを提供することを通じて、企業価値の創出に積極的に取り組んでまいります。